

令和6年度 第3回扶桑町地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和7年1月31日（金）午前10:00～

場所：扶桑町役場2階大会議室

出席者：〈委員〉18名中14名

中部大学教授《会長》	磯部 友彦
犬山タクシー株式会社	長屋 涼
愛知県タクシー協会	松浦 秀則
犬山タクシー株式会社	永川 博之
扶桑町老人クラブ連合会	間宮 進示
扶桑町山那地区	大滝 雅男
扶桑町北新田地区	長瀬 直子
国土交通省 中部運輸局愛知運輸支局	宮川 高彰
愛知県一宮建設事務所	藤原 英智
愛知県犬山警察署	早川 健太
扶桑町副町長《副会長》	北折 廣幸
名古屋鉄道株式会社	高井 勇輔（代理 清水 孝雄）
社会福祉法人扶桑町社会福祉協議会	安井 友貴
株式会社アイシン	杉山 仁

〈事務局〉4名

生活安全部長	長谷川 明夫
生活安全部 地域協働課 課長	兼松 孝行
生活安全部 地域協働課 統括主査	林 幸弘
生活安全部 地域協働課 主査	横井 航太

会議資料：資料1 「チョイソコふそう」実証運行第2期運行計画（2023年10月～2024年9月）

資料2 令和6年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価（及び地域公共交通計画の評価結果）概要（全体）

資料3、 チョイソコふそう本格運行第1期経過報告について（概要版）
【R6.10～R6.12】

資料4 令和7年度扶桑町地域公共交通会議予算（案）

1 開会

【事務局】 開会の挨拶を行う。

【磯部会長】 挨拶を行う。

【事務局】 扶桑町地域公共交通会議の委員数 18 名に対し、本日は 14 名が出席されている。過半数を超えているので、本日の会議が成立していることを宣言する。代理出席の出席を報告。傍聴者について説明を行う。また、配付資料の確認を行う。

【磯部会長】 議事録署名者に愛知県タクシー協会 松浦委員、扶桑町老人クラブ 連合会 間宮委員を指名。

2 議題

(1) 報告事項

① チョイソコふそう実証運行（第 2 期）結果について

【事務局】 林統括主査より資料 1 に沿って説明。(5) 江南厚生病院利用者へのアンケート結果について兼松課長より説明。

【宮川委員】 時間帯別の主な目的の部分について、早い時間は病院やイオンモール扶桑が多いが、遅い時間は小学校や公民館が上位に位置しているため、どこから出発しているのかの集計もあってもよい。

【事務局】 現状は、時間帯別目的地のみ記載しているが、最終的に計画を評価する際に出発地についても調査したい。

【杉山委員】 今回のアンケートの中で、江南厚生病院の利用頻度が増加したという声はあったか。

【事務局】 わからない。

【杉山委員】 今までタクシーやバスを利用していた方がチョイソコに切り替わったことで利用頻度が高まっていると分析の方法も変わってくるため、情報としてあれば教えていただきたい。

【事務局】 計画評価の中でアンケート調査をする際に質問項目として作っていきたい。

- 【磯部会長】 地域公共交通計画は作るだけでなく、実施方法や効果の分析は、色んな観点で見ていかないとけない。
- 【宮川委員】 車を使っていた方が、チョイソコ運行後にどのように転移したかの集計があれば教えていただきたい。タクシーやバスに転移しているのであれば、公共交通の自由度が高まっていると言える。
- 【事務局】 改めてご回答させていただく。
- 【安井委員】 会員登録数の人口割について、割合が高い地域の高齢化率や停留所数など、比例する値や理由はあるのか。また、各地区の利用者割合を教えていただきたい。
- 【事務局】 改めて各地区の利用者割合をご回答させていただく。
- 【北折副会長】 定期的に話をする高齢者の方は、チョイソコのおかげで町内の、色々なところに行くようになったと、とても好意的に捉えてくれている。その方は、ご自身の周りの方に使い方やメリットを伝えてくれていたりするため、エピソードなどもどこかで披露できるとよい。
- 【磯部会長】 いい印象を持っている人が、いわゆるインフルエンサーのような動きをしてくれるとよい。チョイソコ通信や広報など地域全域にメディアを通じて発信していくとよい。

② 令和6年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価について

- 【事務局】 林統括主査より資料2に沿って説明。
- 【早川委員】 免許返納者への公共交通利用の啓発を実施していく中で、犬山市の方には返納時にわん丸くんバスの回数券を渡しているが、現状扶桑町民の方には特にない。今度啓発も兼ねた、返納を促進する取り組みは検討しているか。
- 【事務局】 現状、利用券の配布等は計画されていないが、防災安全課など他部署も含めて協議していきたい。継続して、チョイソコの存在は広く啓発していきたい。

③ チョイソコふそう本格運行経過報告について

【事務局】 横井主査より資料3に沿って説明。

【宮川委員】 予約不成立状況について、2日以上前に予約している方が増加したことで減少に転じているとあるが、早めに予約をすることで予約不成立となる可能性のある方を救えるような状況がわかれば教えていただきたい。

【杉山委員】 確かに乗り合いや別時間の提案はしやすくなっているが、病院だと決まった時間があるため、どうしても予約時間が優先される。例えば30分ずらして提案すると、他の方法を検討すると断られてしまうため、お買い物などの比較的時間に融通が利く場合に提案していきたいと考えている。

【事務局】 補足として、予約をとるタイミングが早まることで、自分の予定を変えていくことができるため、公共交通機関に生活スタイルを合わせていく状況が少しずつ見え始めているのも要因と考えられる。

【事務局】 もう1点補足として、誠信高校の停留所は、浅野保温様のご好意でスポンサー料を負担し、高校への停留所設置にご協力いただいている。若干ではあるが、通学で利用する方もいる。

(2) 協議事項

① 令和7年度扶桑町地域公共交通会議予算について

【事務局】 横井主査より資料4に沿って説明

【磯部会長】 この件について、承認でよろしいか。

【委員】 異議なし

3 その他

なし

4 閉会

【事務局】 閉会の挨拶を行う。

令和 7 年 3 月 5 日

本書は、令和7年1月31日に開催された扶桑町地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

署名人 松浦 希則

署名人 関宮 進永